

第126号

2025(令和7年) 12. 13

西こじょう会だより



小川正勝（24期 浄心2）

名古屋市高年大学鯉城会

西こじょう会

名古屋市鯉城学園



スマホで簡単にアクセスできます“西こじょう会”

仲間、笑い、そして社会参加

会長 早川明良（32期 浄心2）

令和7年度も半ばをすぎました。西こじょう会と致しましても、会員の皆様のご協力より無事に活動を進めることができました。改めて御礼申し上げます。

今年も西区社会福祉協議会のボランティア・NPO応援助成に応募し、なんとか助成金を頂くことが出来ました。今回はそれを基に夏用メッシュ素材の当会ネーム入り青ビブス20着を購入致しました。酷暑、残暑の中、ボランティア活動に参加頂いた会員の皆様に大変好評を頂いております。

この助成金は赤い羽根共同募金を財源としています。これからも募金された方々へ感謝をこめ、ボランティアや地域での活動を進めていきましょう。



『ばゝたち達や おどけぬで 田植る』

敬老の日、中日新聞朝刊の「中日春秋」で紹介された小林一茶の句です。高齢の女性たちが笑い話をしてながら田植えをしている姿の描写から、その笑い声や生き生きとした様子が感じ取れます。

私たちの目指すところはここにあるかも知れません。この冊子が発行される頃は16区フェスティバルも総合作品展も終わり、来年度の活動計画策定の時期になっていることでしょう。4月には39期生を新入会員として迎えます。活動はずっと、続きます。

仲間、笑い、そして社会参加、この三つが揃っている西こじょう会で、有り続けましょう。

「第40回 西ふれあいまつり」を終えて

名古屋市西生涯学習センター

館長 仲辻 彰人

日ごろ西こじょう会の皆様には、様々な活動で当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。また、去る11月1日・2日の2日間に渡って開催いたしました「第40回 西ふれあいまつり」には、第21回総合作品展として絵画や写真をはじめ、手芸品、書、俳句、盆栽など多数のご出品を賜り心より感謝申し上げます。どの作品も素晴らしい出来栄えで、まつりに彩りを添えていただきました。



おまつりでは当センター独自の企画として、今年度も西区小中学校造形作品展の同時開催や名古屋西高等学校の部活動の特別出演を行いました。毎年ご来場の皆さまから好評をいただいており、地域における世代間交流という点においても大きな役割を果たすことができているのではないかと自負しております。また、開館40周年を記念して館内装飾にもより一層力を入れるとともに、お子様が楽しめるような企画として、「太鼓の達人」体験コーナーとぬりえコーナーを新設いたしました。来場者アンケートでは、「楽しかった。来年も見たいです。」「いろいろな作品を見られておもしろかったです。」などの声を多数いただきました。2日間で延べ1449人（昨年度比+109人）の方にご来場いただくことができ、おかげ様をもちましておまつりも盛況のうちに終えることができました。

第21回 総合作品展を振り返って

総合作品展実行委員長 犬飼孝二（33期 名塚1）

今年も西生涯学習センター主催の「第40回 西ふれあいまつり」が開催されました。日頃の学習センターや地域で活動するグループの活動成果を発表する場として、また地域の方々にも知って頂く機会としても、かけがえのない場になっています。

西こじょう会も協力する形で、第21回 総合作品展を開催することを決めました。作品展は、2階の一室を使用しパネルと机に写真・絵画・俳句・書・手芸品・同好会紹介・陶芸・盆栽など、出品者数40名の個性豊かな54作品と8同好会の紹介を含めた展示でした。この2日間、西こじょう会には345名の受付署名を頂きました。

どの作品も力作揃いで、今年も来場者からは「これはいいね」、「これもすごい!!」「これ頂いていいのー」との声が聞かれるなど好評でした。会員の方々においては、モノを創造する楽しみや達成感を味わい、オリジナル作品を仕上げる感動は何事にも代え難い喜びになっていることと思います。来年も鯖城会関係の方や友人・知人、多くの来場者を迎えるよう企画をして参ります。

終わりにあたり、西生涯学習センター様や出品者様、そして運営に携わって頂いた方々に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

第21回 西こじょう会 総合作品展 出品者一覧

総合作品展実行委員会

*開催期間：令和7年11月1日(土)～11月2日(日)

*会場：西生涯学習センター2階 第2集会室(西ふれあいまつりに協力)

写真

No.	氏名	期	専攻	ブロック	題名	撮影場所	撮影年月
1	安藤 弘子	15	生活B	浄心3	オラが1番！	新城市 実家のお庭	2024.8
2	一江 義光	"	生活B	浄心2	又、来てね	西区 円頓寺商店街	2025.8
3	加藤 丈志	16	生活B	平田	水面の紅葉	千種区 東山動植物園	2024.11
4	渡邊 富子	22	地域	菊井2	収穫	三重県 五ヶ所湾	2020.9
5	山田 正一	23	生活B	山田2	晩秋	京都市 東福寺	2023.11
6	小川 正勝	24	文化B	浄心2	この木も仲良し	中区 名古屋城内	2025.8
7	久保田 美智子	24	園芸	浄心2	朝焼け	名古屋城 外堀	2025.8
8	加藤 武	27	陶芸	浄心2	今年も頑張ったよ	徳島県 徳島市内	2024.8
9	高木 圭子	27	生活A	菊井1	華麗な異国のモスク	UAE アブダビ首長国	2020.5
10	角田 正人	30	環境	名塚4	ああ！車止め通過、大丈夫かな？	西区内 ス-パ-マ-ケツ	2025.6
11	倉田 好江	30	地域A	菊井1	春のととずれ	いなべ市 員弁川散歩道	2024.4
12	犬飼 孝二	33	園芸	名塚1	コロナ禍の紅葉列車	京都市 嵐山駅	2021.11
13	安田 實	38	歴文A	菊井2	秋たけなわ	京都府 岩船寺	2020.11
14	隅田 路恵	同好会会員	菊井1	一番しあわせな国	北欧 フィンランド	2025.9	
15	水野 美江	15	美術	—	遊び心のあるキッチンカー	北区 名城公園	2024.4

絵画・書

1	井戸田 寿賀恵	14	健康	平田	はまぐり雛	水彩画 32×62
2	塚田 加代子	27	生活A	天神山2	滋賀県大津 石山寺	水彩画 61×51
3	"	"	"	"	焼き物散歩道と椿	水彩画 62×53
4	森 富貴子	29	文化A	名塚4	風静語丹鶴【カゼシスカニシテ】	書(軸) 120×30
5	竹島 豊子	29	生活B	浄心2	治身保靜【チシンホセイ】	書(短冊) 74×23
6	藤原 宏子	30	美術	天神山2	永源寺	水彩画 50×58
7	"	"	"	"	豊(みのり)の秋	水彩画 46×55
8	角田 正人	30	環境	名塚4	夕方が近い水路界隈	水彩画 46×57
9	小出 晴子	30	健康B	平田	おつかれドクターイエロー	水彩画 53×60
10	"	"	"	"	呼んだ？	水墨画 51×43
11	馬場 まつ子	33	生活A	菊井2	虹の咲き	パソコン画 29×36
12	山田 公子	34	美術	名塚1	桃とブルーン	水彩画 41×53

俳句・短歌

1	宮脇 行正	13	文化B	山田東3	川柳(真夏日 三句)	短冊 47×11
2	橋本 克巳	37	国際B	山田東2	短歌(恋歌)	3首 63×47
3	"	"	"	"	時節の俳句	4首

手芸品		No.	氏名	期	専攻	ブロック	題名	備考欄
1	高橋 和子	19	健康	山田東2	冬ジャケット		1枚	
2	"	"	"	"	キッキンを明るく!!		5種類各1点	
3	塚田 加代子	27	生活A	天神山2	きものリメイク(母の思い出)		1着	
4	"	"	"	"	"(羽織でスカート)		1枚	
5	小森 美登里	30	健康	山田1	手編みベスト・親子ペア靴下		ベスト1枚・靴下一組	
6	倉田 好江	30	地域A	菊井1	小物入れ[布]		2点	
7	中村 美智恵	32	地域B	山田2	手編みベスト・ネクタイ		数点	
8	早川 よしゑ	33	園芸	名塚5	人形(姉妹)		2体	
9	森川 小夜子	37	国際A	山田東3	アクリル束子		複数個	
10	近藤 美恵子		会員(近藤 進)の家族		あみぐるみ(犬)		複数個	

盆栽・他							
1	高橋 和子	19	健康	山田東2	季節の盛り花		花瓶(35×28cmφ)
2	竹島 豊子	29	生活B	浄心2	切り花		花瓶(25×8cmφ)
3	犬飼 孝二	33	園芸	名塚1	クチナシ・その他		3鉢

陶芸							
1	小川 正勝	24	文化B	浄心2	あんぱん		絵皿(24cmφ)
2	細川 芳則	30	地域A	名塚2	開運 七福神		7体(25×40)

その他							
1	早川 明良	32	地域B	浄心2	MAGIC CELLO(オルゴール)	20×13×25cm	

同好会							
1	写真				同好会紹介 A3サイズ		
2	グラウンド・ゴルフ				"		
3	おもちゃ病院				"		
4	写経				"		
5	西雀友会				"		
6	健康				"		
7	出かけて観る会				"	大王松 松ぼっくり展示	
8	金鯱旅行				"		

作品紹介（写真 1/2）

オラが一番！



15期 安藤 弘子



又、来てね 15期 一江 義光



水面の紅葉

16期 加藤 丈志



収穫

22期 渡邊 富子



晩秋

23期 山田 正一



この木も仲良し

24期 小川 正勝

朝焼け



24期 久保田 美智子

今年も頑張ったよ



27期 加藤 武

作品紹介（写真 2/2）



華麗な異国のモスク 27期 高木 圭子



ああ！車止め通過、大丈夫かなぁ？ 30期 角田 正人



春のおとずれ

30期 倉田 好江



コロナ禍の紅葉

33期 犬飼 孝二



秋たけなわ

38期 安田 實



一番しあわせな国 同好会会員 隅田 路恵



遊び心のある
キッチンカー

15期 同好会会員 水野 美江

作品紹介（絵画）



はまぐり雛

14期 井戸田 寿賀恵



滋賀県大津 石山寺 27期 塚田 加代子



焼き物散歩道と椿

27期
塚田
加代子



永源寺

30期 藤原 宏子



豊（みのり）の秋

30期 藤原 宏子



夕方が近い水路界隈

30期 角田 正人



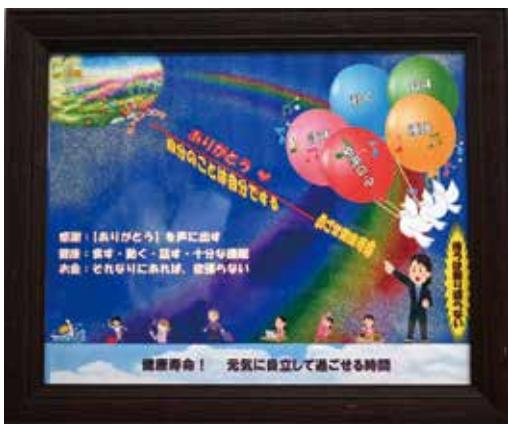
おつかれドクターイエロー 30期 小出 晴子



呼んだ？

30期
小出
晴子

作品紹介（絵画・書・俳句・短歌）



虹の咲き

33期 馬場 まつ子



桃とブルーン

34期 山田 公子



カゼシズカニシテタンチヨウヲカタル

29期 森 富貴子

チシンホセイ



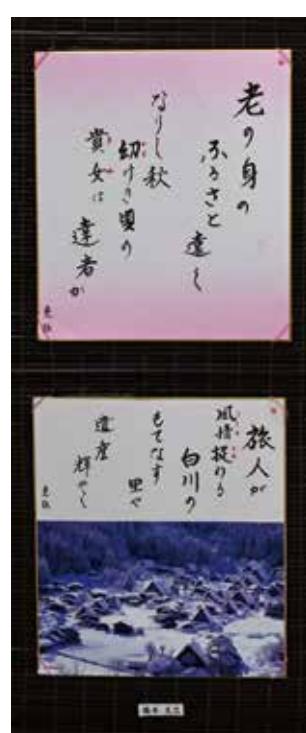
29期 竹島 豊子



13期 宮脇 行正



37期 橋本 克巳



37期 橋本 克巳

作品紹介（手芸品）



19期 高橋 和子



27期 塚田 加代子



30期 小森 美登里



30期 倉田 好江



30期 中村 美智恵



33期 早川 よしゑ



アクリル束子

37期 森川 小夜子

ご来場者プレゼント用
作 品



38期 会員の家族 近藤 美恵子

作品紹介（花・盆栽・陶芸・その他）



同好会紹介



作品紹介（その他）



作品展示の様子



来場者の様子



鯱城会幹事として

鯱城会幹事 西岡靖之（37期 山田1）

鯱城会幹事に就任して半年が経過しました。

鯱城会幹事は各区から任命された16名で構成されており、8名が総務グループ、8名が事業グループとなっており、私は事業グループでグラウンドゴルフ担当3名のリーダーをしております。

グラウンドゴルフの交流会は10月22日に予定されておりましたが、残念ながら昨年に続き雨天で中止となりました。準備として、幹事による成績集計については事前に勉強会を行なったり、大会前日には機材をトラックに積み込むところまで行っていただけに、中止は極めて残念でした。しかしながら、各区のグラウンドゴルフの代表者の皆さんや幹事の皆さんと大変気持ちよく準備を進めることができたことは素晴らしい経験でした。

私が幹事になりました感じたことは、幹事の皆さんとそれぞれの役割で大変活発に活動していることです。私は、幹事会の中でも西こじょう会の一員として恥じることのないように今後も活動していくことを考えています。また、会長はじめ会員の皆様にも大変ご協力いただきいでいることでスムーズに活動が行えていることに改めて感謝申し上げます。

さて、幹事の内総務グループの8名は、月1回午前中の幹事会、午後の代議員会にも出席、かつ1週間前にはその配布資料を用意するなどかなり忙しくされています。なので初めの1、2か月は「幹事がこんなに大変とは聞いていなかった」とか「私には無理」とかの声が多く上がっていましたが、時を経るにつれそうした話は聞かなくなりました。

幹事会、代議員会の間にお弁当を食べる際にも会話が弾んでいます。また、12月には幹事会で忘年会が開かれる予定ですが大変楽しみにしている様子です。

私も16フェスティバル後の懇親会、堀川清掃の後の昼食会では大変楽しい一時を過ごすことができました。ぜひ皆さんも西こじょう会の行事はもとより、鯱城会主催の行事に参加し、その後懇親の一時を過ごすのはいかがでしょうか。

「面倒だ」という気持ちを抑え、一人でも多くの方が鯱城会行事へ参加されることをお待ちしています。



委員会だより

<総務委員会>

総務委員長 松岡洋一（34期 名塚4）

地域ミーティング

「西こじょう会って何をしている会なんですか？」と一人の在学生が、後片付けをしている私に歩み寄ってきました。今年6月11日、地域ミーティング終了直後のできごとです。不意を突かれた私はとっさに、ボランティア団体ですと答えました。「どんなボランティアをしているんですか？」とさらに畳みかけてきます。清掃活動などをしていることを簡単に説明すると、「わかりました」と言って帰っていました。その学生は西区在住の2年生ですので、来年4月から仲間になるかもしれません。わずか数十秒の立ち話でしたが、本当にわかつてもらえたでしょうか。

地域ミーティングは2年間の学園生活で3回行われます。私の学生時代もそうでした。3回とも記憶に残っています。

1回目は1年生の後期。地域ミーティングとは？何であるかも教えてもらわずに教室で待っていると、10人ほどの高齢者が入ってきました。全員男性でしかも「○○鯱城会」と書かれたおそろいのベストを着ています。私はここで初めて、地域ミーティングとは卒業生が来て説明する会だと悟りました。クラス40人を5つのグループに分け、それぞれのテーブルにOBが入り、学園時代の思い出話や卒業後の生活の話をしてくれました。何専攻のOBかは忘れましたが、クラス会を毎月開いているところで、私はとても驚いたことを覚えています。鯱城会への勧誘の話もきっとあったでしょうが、全く覚えていません。和気あいあいの会でしたが最後にトラブルがありました。アンケート用紙が配られたのはいいのですが、住所・氏名・電話番号を書く欄があったのです。1人の学生が「どうして個人情報を収集するんですか。何に使うんですか。」と声を上げると、「今書く必要はないのでは。入会するときに書けばよいのでは。」と同調する学生も現れはじめました。結局、記入は任意でよい、ということで混乱は収まりました。記憶に残った1コマでした。

2回目は3年後になりました。コロナ禍で2年間休校だったからです。西区在住の2年生が区役所の一室に集められました。たしか5人か6人でした。当時の役員さんには大変申し訳ないのですが、内容はほとんど覚えていません。寝ていたわけではありません。しっかり聞いていました。はっきり覚えているのは一つだけです。それは、閉会した後、廊下へ出て帰りかけた時のことです。「名札返してー」とある先輩から言われたことです。なぜか不思議ですが、このシーンは鮮やかに記憶に残っています。

3回目は鯱城ホールの片隅に西区在住2年生が集められました。詳しい説明と勧誘がありました。質疑応答だけははっきり覚えています。「西こじょう会には、卒業する今しか入れませんか。何年か経った後でも入会できますか？」何年たっても入会できるとの回答でした。

私の経験から言えることは、ハプニングは記憶に残るようですが、説明内容は右から左へ抜けていく、ということです。

今後の地域ミーティングでは、少しでも、鯱城会、とりわけ西こじょう会のことを理解していただけるよう工夫が必要だと改めて感じている次第です。

<広報委員会>

広報委員長 犬飼孝二（33期 名塚1）

西こじょう会だより第126号は総合作品展会場に足を運べなかった人や、機会があればもう一度よく見たかった人への誌上作品展の特集号にもなります。個々の作品サイズは相対的な大きさを考慮して掲載したつもりですが、手芸品・その他で作品一覧にサイズ表示が無く、添付のキャプションサイズと相対的な大きさを想像したり、必要なときには出品者に問い合わせるなど連絡を取り合って戴きたいものです。

短かった今秋にはビックニュースが多く、米価や諸物価の高騰、米大リーグでの日本人選手の大活躍、女性初の高市政権の誕生、頻繁に人里に降りて来たクマが人を襲うなど、かつては、ツキノワグマは人畜を脅かすクマでは無かったはずです。更に、稻生町で26年前に発生した主婦殺害事件の容疑者逮捕などは、後にドラマ化やミステリー小説にもなりそうです。

<ボランティア委員会>

ボランティア委員長 中村美智恵（32期 山田2）

今年度上半期のボランティア委員会の活動を報告します。

- ◎ 净心駅界隈の清掃（5月10日（土）～）は毎月第2土曜日、9：10～9：40まで天神山福祉会館から净心交差点までの歩道のごみ拾い活動をしました。タバコや空き缶のポイ捨ては、なかなか減らないものです。
- ◎ 5月31日、庄内緑地クリーン活動の公園内清掃に24人参加しました。グリーンプラザ前に集合し、10：00～11：30まで楽しく会話しながらの活動でした。
- ◎ 6月21日（6月14日予定が雨天延長）の鶴舞公園清掃活動に役員9人・40期生12人が参加しました。
- ◎ 9月11日、「こころの絆創膏」活動を地下鉄伏見駅で行い7人が参加しました。9月の自殺予防週間に合わせ、相談先を掲載した携帯用「こころの絆創膏」を配布しました。
- ◎ 10月1日（上小田井駅）10月25日（ヨシヅヤ名西店）11月9日（イオンタウン名西）にて「赤い羽根共同募金活動」を行いました。それぞれ6人が参加しました。



早朝のボランティア活動もあるなか、多くの方にご協力いただきました。これからもより多くの参加者をお待ちしています。

<行事委員会>

行事委員長 神谷佳弘（37期 天神山1）

【ボッチャで軽スポーツと交流会】

7月31日(木) 西区役所5F研修室にて「交流会」を行いました。参加者27名。拍手と歓声が飛び交い、酷暑も何のその大いに盛り上りました。

「軽スポーツ」は天神山福祉会館2Fで、4月・6月・9月・10月に実施。参加者は18～20名。童心に帰ったような笑顔が素敵でした。

今後は、11月8日、翌1月10日を予定しております。
初めての方大歓迎です。



【音楽鑑賞とランチ】

6月2日(月) 宗次ホールにてヴァイオリン・チェロ・ピアノ三重奏による「音で愛を紡ぐ」を楽しんだ後、おいしいランチに舌鼓を打ち、話に花が咲きました。
参加者は9名です。



【浩養園で暑気払い】

9月26日(金) 参加者11名。この数日間の雨模様と気温の低下とは打って変わり当日は浩養園日和になりました。大いに飲んだり食べたり、そしてさまざまな話題に会話が弾みました。お肉も多種ありましたが、中でもマトンは昔の浩養園料理「ジンギスカン」の味が口いっぱいに蘇りました。



【名古屋城と菊花大会】

11月9日(日) 雨天の中参加者15名、石垣や櫓、本丸御殿内部をガイドさんからの説明を受けながら見学しました。

西こじょう会会員の犬飼孝二、早川よしえ お二人が出品されている見事な菊を観賞しました。

作品の
一部紹介



[11月19日撮影] 根繋がり 犬飼さんの作品



早川さんの作品

【今後の予定（ボッチャは上記参照）】

翌年1月13日(火) 新年懇親会（浜木綿黒川店）
2月 下旬 梅林観賞会（知多市佐布里池）

同好会だより

西こじょう会の同好会は会員以外の方でも入会出来るオープンな同好会です。出かけて観る会を始め、おもちゃ病院、健康同好会、写経同好会などには会員以外の方々が多く参加活動されています。以下に各同好会から届いた活動を紹介します。

写 真 同 好 会

現在、総勢 17 名で活動を行っています。会員皆さんの更なる参加に期待します。通常活動は会員の作品紹介と評価及び勉強をプロジェクトにより行い、又、定例化した山田支所の展示作品への対応（2ヶ月に1回）、必要に応じて勉強会、その他の活動等を行っています。

ここでは主な、その他の活動について報告します。

1) 西区区民美術展

西区内の一般公募の美術展が9月19日(金)～21日(日)に西区役所講堂で行われ、写真の部で会員の小川正勝さんが市長賞に入賞されました。（この市長賞は我々会員が過去6名の方が受賞されていて7人目になりました。）

教育委員会賞に安田實さん、中日賞に加藤丈志さん、奨励賞に犬飼孝二さんが入賞され、又、水野美江さんが北区で教育委員会賞に入賞され合計5名で、一度に5名の入賞は過去最も多く、会の充実ぶりがうかがわれます。

[教育委員会賞]



「灯す」安田 實さんの作品

2) 西こじょう会総合作品展

西ふれあいまつりに協賛し、今年は11月1日(土)～2日(日)に浄心の西生涯学習センターにて行われ、出品し皆さんに見て頂きました。

(個々の写真及び詳細は別途掲載有)

3) 秋季撮影会 11月25日(火)

白鳥庭園内一円



会場内の写真展示風景

★ 今年度の予定

イ) 定例会開催日（基本毎月第4土曜日）

12月20日、令和8年1月24日、2月28日、3月28日

場所：西生涯学習センター2階 9：30～11：00

ロ) 写真同好会作品展示会（私達の作品展）

令和8年2月28日～3月28日に西生涯学習センター2階廊下に展示

代表 33期 犬飼孝二（名塚1）TEL 090-9907-7951

副代表 27期 加藤 武（浄心2）TEL 090-6619-5899

文責 15期 一江義光（浄心2）TEL 090-5038-0301

健康同好会

場 所 西生涯学習センター 2階
日 時 毎月の第4土曜日（但し12月は第3土曜日）
時間はAM11時～AM12時迄
目 的 筋肉を鍛え一生歩けること、ヒザ、腰の痛みをなくす。
認知症にならない体操を取り入れています。



有資格指導者 堀 先生の指導で体操及び腰掛けての運動は筋肉を強くし、転倒しないとか、又は脳トレを入れた運動で皆さん楽しく指導頂いております。



服装は運動に適したラフな服・持ち物は運動しますので水分補給出来る物・タオル（上記写真参照）を持参下さい。

代 表 角田 正人 (30期) ☎ 090-1750-3463

グラウンド・ゴルフ同好会

グラウンド・ゴルフと同好会

谷口 節子（37期 山田東3）

グラウンド・ゴルフは、1982年（昭和57年）文部省（現文部科学省）の生涯スポーツ推進事業の一環として、鳥取県泊村（現湯梨浜町）で考案されたそうです。

だれが、いつでも、どこでも、いついつまでも身近にある広場や公園・学校のグラウンドなどで楽しめると言うところからきています。地域の人々による手作りのスポーツとして誕生しました。

実際に会員の年齢構成を見てみると、男女とも60歳以上が9割という構成比になっています。このことからも、今後の日本の高齢化社会において健康と言う観点から、非常に重要なスポーツだと思います。私は、50肩になり手は挙がらない肩が痛い時でもグラウンド・ゴルフが出来たことを納得しています。皆様もどうぞ都合が合う時は出掛け下さい。

グラウンド・ゴルフとの出会い

後藤 千賀（38期 山田2）

いつからだろ！ クラブを自転車のかごに入れ行き来する人達が目に留まるようになったのは。多分ずっと前からの風景だと思います。

私もいつかはグラウンド・ゴルフをやってみたいと、思うようになりました。そして、始める機会を頂きました。場所は庄内緑地、木立の中、花壇あり、池あり、そして椎茸が生え、カメが歩き驚くことばかりでした。何より同好会の皆さんには、プレーしながら笑い顔やお喋りをして楽しく、明るく競技されています。

私もこれからこのグラウンドで四季を感じながら、楽しいプレーをしたいと思います。

グラウンド・ゴルフの雑感

蒔田 まゆみ（38期 名塚5）

入会以来、私はどん尻を走っている。ブービー賞1回、後はビリ。「ボールをしっかり見て」とアドバイスされる。「見てるんだけど」と言いながらクラブを振ると「カスン」と言う。つれない音。ボールはすぐそこ、快音はなかなか響かない。

ボールはあさっての方向に転がって行くことも。

あ～あ！ ホールインワンなんていつのことやら。だが、このどん尻ゴルフもなかなかオツなものだと思えるようになった。なんだか面白い。ひねりを入れる動作も腸に良い刺激となる。身体も少し軽くなった。

今日もホールポストに入れるまで、何歩も何歩も歩き続ける。



会員を募集しています、ご連絡下さい！

◎毎月 第1、第2、第3、水曜日 AM9:30～ 庄内緑地松林で開催

代表 細川 芳則 (090-2579-6455)

副代表 黒岩 利次 (052-551-4817)

金鯱旅行

「暑気払い」懇親会

この夏の暑さは尋常でない猛暑日が7月から強烈に毎日続いており、また、下期の行事計画会議を行う予定をしていました。

8月2日、17名の出席で「暑気払い」を兼ね「や台ずし」庄内通店で会合を開催しました。上期の活動と収支報告があり、次に下期の活動計画は皆さん提案により行先が示されました。その後、宴会が始まりワイワイガヤガヤの飲み会談笑出、更に行先の詳細について模索し、「アーダ・コーダ」で決まりました。



「おわら風の盆」を訪ねて

細川 芳則（30期 名塚2）

この夏の暑さは尋常でない猛暑日が、9月になっても収まらない日が続きました。

そんな中、9/1～2の一泊日程で富山県八尾町の夏祭り「おわら風の盆」を初めて観ることが出来ました。この祭りは、山合にある静かな2万人の町に、風の盆の9月1日～3日で30万人が訪れます。江戸時代より養蚕業が盛んで富山街道の要衝となり、発展した経済力は「おわら風の盆」「越中八尾曳山祭」といった民族文化が栄えた。こう言う文化は、白川郷や上高地も同様に発展したと思われます。

私達は、八尾町での宿泊は通常の宿泊代が2倍近くなるため（郡上踊りも同様）諦め、富山市内のホテルに決めました。祭りにはシャトルバスを利用して夕暮れの町に入りました。夜暗となり、各町内の「連」が町中を練り始めました。

哀愁を帯びた胡弓や三味線の音に合わせ、浴衣と編笠を身に着けた踊り子が、昔ながらの街並みを幻想的に練り歩き。また、西町の「連」は独自の踊りや謡い方で町を流していました。好きな町内の演舞、囃子を見付けるのも楽しみ方の一つだと思い一晩で10万人の観客の中を右往左往しました。



石畠メイン道路



踊り子の町流し

（代表：細川芳則、副代表：神谷佳弘）



出かけて観る会

参加費・事前予約・年会費は必要ありません

『AM10:00～AM11:40頃まで』

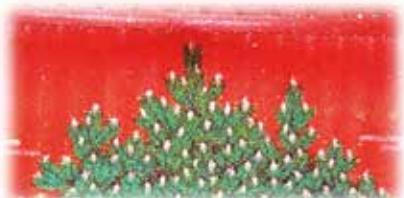
9月19日(金)〈第60回〉「出かけて観る会」は名古屋能楽堂ガイド付き(一人300円)案内で、普段では入れない部屋も見学しました。名古屋城正面前に建つ、国内最大級の優美な外観の素晴らしい「名古屋能楽堂」は木曽檜造りで、どの客席からも舞台が見やすく630席もあります。舞台の鏡板(かがみいた)は若松(わかまつ)と老松(おいまつ)が一年ごとに羽目変えられます。

私たちは最初に能舞台の客席に座り、担当者から能楽堂の各施設の説明を受け、展示室では能装束・扇・能面などの展示や能楽の歴史や魅力についても説明を聞きました。

その後、楽屋・花道・能舞台へ、靴を脱ぎ、ストッキングの方は施設で用意された靴下に履き替え、見学しました。楽屋は縦に幾つものふすまで仕切られ、部屋の多さにも驚きます。能舞台・花道は赤の毛氈が敷かれ、毛氈から足が床板に触れる度に注意を受けました。

舞台から客席を見渡し、木の香りがする広々とした素晴らしい光景に、感動と日本伝統芸能の重さを強く感じました。

参加された20名の皆さん、「名古屋能楽堂」見学を大変楽しんでおられました。



若松(現在使用)



老松(来期使用)



能舞台から花道へ



資料室



能舞台



楽屋

皆さんのご参加お待ちしています
お一人参加大歓迎です

代表 33期 馬場まつ子
副代表 33期 早川よしみ

おもちゃ病院

地域に密着した活動を目指しています

毎月：第1日曜日は西図書館で、第3日曜日は山田図書館でおもちゃ病院を開催しています。

押し入れに眠っているおもちゃがありませんか？

お孫ちゃん（またはひ孫ちゃん）が生まれたのを機会に一度動かしてみてください。

もし、壊れていたらおもちゃ病院にお持ちください。

おもちゃドクターが一生懸命に修理いたします。

代表表：26期 岩尾 秀樹

（名塚3）電話 090(8472)8730



写経同好会

長く暑い夏が過ぎ、秋は短く顔を出し一足飛びに冬が？今年は異常気象の典型的のような日々・・・皆さん健康に気を付けてお過ごしください。

毎月1回の写経を実施しております。写経観念文をみんなで一緒に唱和しパタカラ（お口の体操）など途中休憩を挟んで12月の納経に向け楽しくやっております。

9月から1ヶ月間、天神山福祉会館の壁面で有志の方の般若心経の写経を発表させて頂きました。見て戴だけましたでしょうか。又、入会ご希望の方は天神山福祉会館まで見学にお出で下さい。お待ちしています。

日時：毎月第3水曜日 10時～12時（8月は休み）

場所：天神山福祉会館2階

入会費・会費 無料（納経の費用千円有り）

代表者 29期 森 富貴子 ☎ 521-3098

西雀友会

西雀友会のモットーは「体力」「知力」「気力」を若く保ちましょう！

麻雀は人間の頭脳と目と耳と手とそして運も使って世界中で親しまれているテーブルゲームです。

月2回の活動ですが、昭和鯱城会の健康麻雀同好会との交流により相互に活性化されています。

活動場所：名古屋駅西「ウイング」

開催日：毎月2回（日程は毎月連絡）11:00～17:00

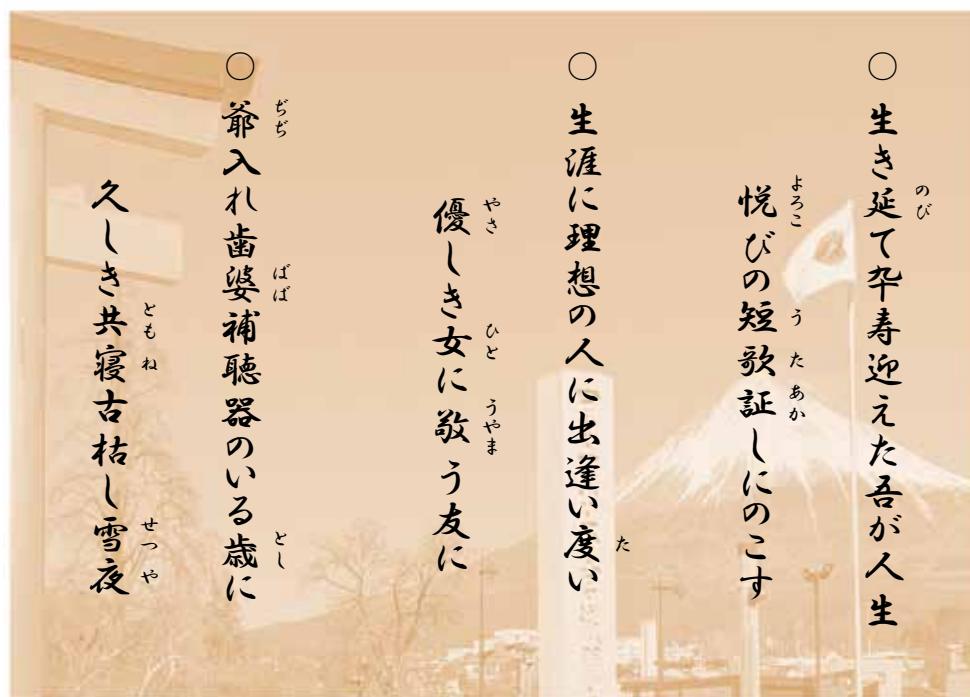
会場費：1,200円／回（ランチ代を含む）

入会金・年会費なし 興味のある方はご連絡下さい!!

代表者 塚田加代子（27期 天神山2）☎ 090-7027-7344



樂しき短歌 三題



橋本克己（37期 山田東2）

隨想

太極拳

別所輝年（21期 菊井2）

太極拳は中国が発祥の地です。戦わない武術です。ユネスコ無形文化遺産に登録されています。中国では日本のラジオ体操と同じ感覚で公園等にて多くの人に楽しまれています。形は揚げ式・武式、剣・扇を使う演舞もあります。

私が太極拳を始めたのは66歳の時です。ゆっくりした動作ですが、足・腰は鍛えられます。心肺機能にも良いと言われています。

鯉城学園のクラブに入会希望でしたが入会出来なくて、友人の紹介で中国伝統医学太極拳に入会。鯉城学園の太極拳はOB文化祭でみられた方も多いと思いますが、全国で会員数が一番多くポピュラーです。私がやっているのは少数です。一套路(1回)が55式あり30分かかります。練習は二套路ですが、若い人には勝てず私は一套路で失礼しています。太極拳の良さは老若男女が気楽に出来るスポーツです。健康維持には最適です。

今年で19年目になります。

「健康訓」に50, 60は花ならつぼみ、70, 80は働き盛り、90になって迎えが来たら100迄待てと追い返せとあります。

人生100年時代です。興味のある方はチャンスあれば挑戦して下さい。



山菊盆栽作りの思い出

森 千恵子（37期 浄心1）

私は高年大学2年の授業で、「山菊の盆栽作り」を初めて経験し、併せて「苔」の美しさにも魅了されました。

実際に取り組んでみると、苔には実に様々な種類があり、特に苔集めの段階では悪戦苦闘の連続でした。山菊に相応しい苔を求めて、道端のわずかな隙間や歩道橋の影などに生えている苔に何度も駆け寄ってみました。そうしてやっと気に入った苔を見つめたときの感動は、少しオーバーですが今でも忘れられません。



ギンゴケ



ホソウリゴケ



スナゴケ

やっと、手に入れた苔をさてどのように山菊とマッチさせたらよいのか、盆栽づくりの名人と言われる先生や先輩に教えてもらったり、書物を読んだりして試行錯誤しましたが、よく分からぬまま、出品の日を迎えることになってしまったことを覚えています。

こうして出来上がった盆栽は、名古屋城菊花大会の展示台の末席に置いていただくことになりました。ここで自分の作品を見つけたときには気恥ずかしさを感じながらも、園芸グループの皆さんと和気あいあい活動できたことは、これからも楽しい思い出として心に残ると思います。



山菊(小菊)盆栽について

盆栽とは一般には鉢の中で樹木を育て、自然の風景を映し出したり大木の様子を表現する植物の育て方です。この為、小さな鉢で剪定や針金を掛けて成長を抑制し単なる鉢植えとは異なり、人工美と自然美の調和を大事にしたものです。

菊は多年草植物ですが、山菊盆栽では1年で力強い大木の如く育て上げ、晚秋には綺麗な花を咲かせて一年草の如く終えるものです。

名古屋城菊花大会山菊の部は、次の10部門に出品することができます、夫々審査されます。

- ① 席飾り ② 自営花壇盆養 ③ 自由花岩付 ④ 盆景作り ⑤ 自由花木添え ⑥ 自由花懸崖
- ⑦ 自由花数立 ⑧ 指定花 ⑨ 小作り ⑩ 自由花盆栽

犬飼 記

傘寿

飯沼康弘（34期 菊井2）

さる10月吉日、母校の大学第18期生の「傘寿」を祝う同窓会が行われました。

まずは物故者追悼が行われました。私には学生時代、仲の良かった8名の友人グループが居ましたが、今年3月に亡くなった友を最後に遂に7名が亡くなってしまい、生存者は私一人になってしまいました。このため「傘寿」には本当に重く永い年月があると感じながら友たちの冥福を祈りました。

さて会が始まると「傘寿」には異論を唱える者もあり、傘寿は満年齢で行うものではないか、今回の傘寿の会は数え年齢で行われており一つ早く年を取ってしまうものであり納得できないと女性達の声も多くありましたが、本当のところはどうでも良いことであり、同窓会の名目があれば結構という事で無事宴が進んでいきました。

その後、会も佳境を迎える、司会者から意外な提案があり「卒業後57年経っており今だから言える学生時代に好きだった異性、気になっていた異性、好きだったバンドなどを青春時代に戻って考え、紙に書いて提出してください、いわゆる人気投票をしましょう」となり、俄然それまでとは雰囲気が変わり、あちらこちらで歓声が上がり、20代の頃に学食で団らんしているかのような雰囲気となったのは言うまでもないのことでした。

男性には英米科のマドンナK・Yが圧倒的人気で、女性には入学が昭和40年の事であり、在学中はグループサウンドブームの真っただ中であり、学内ロックバンドのロックインポップス、ベガーズ、ラテンバンドのトリオモレーノの話題で盛り上がり、集計結果は第1位「英米科のマドンナK・Y」第2位「ロックインポップス」という事で全員が納得しました。

この人気投票があったことで久しぶりに20代の学生の頃に戻ることができ、心華やぐひと時を過ごし閉会となりました。

この様に素敵な仲間がいれば、いくら歳を重ねても心躍らせる時間が共有できるものと改めて、「西こじょう会」の仲間に思いをはせることができました。



旅行あれこれ

児玉基晴（37期 菊井2）

息子たちが大きくなり、65歳で再雇用を終了するまで旅行には行った覚えがほとんど無く、自分の趣味のゴルフに明け暮れていたように思います。

鯉城学園在学中はクラブで日帰り旅行を年2～3回行きましたが、あまり思い出に残るような事はありませんでした。強いて言えば、木曽川の昼鵜飼へ行った時の鵜匠さんが若くてきれいな女性だった事でしょうか。鵜飼も観ずにその鵜匠さんに見とれています（笑笑）

鯉城を卒業してからあいちシルバーカレッジに入学し、そこでは“ローカル鉄道めぐり”サークルに入りました。新幹線しか乗った事がなかったので未知の世界に惹かれました。ここでの思い出は8月の暑い最中に長良川鉄道で郡上八幡に行き、昼食でビールを飲んだ後郡上八幡城まで徒歩で登った時はフラフラになりましたが、涼やかな風に吹かれながらお城から見た郡上八幡の街並みは素敵でした。

西こじょう会では、“青春18きっぷ会”（のちに“金鯉旅行”）に入れて頂きました。今までに行ったことがない場所に連れて行ってもらい、何処も良かったんですが、強く思い出に残っているのは佐川美術館から近江神宮に行った時で、JR大津京駅から近江神宮までこれまた暑い中を歩いたことです。近江神宮も良かったですが、その境内にある映画“ちはやふる”的聖地「近江勸学館」に入れた事です。競技かるたが行われる大広間を見たときはその熱戦ぶりが瞼に浮かんでくるようでした。

今年からは自分だけ楽しんでいては妻に申し訳ないと思い、3月に夫婦で松本、長野への美術館巡り一泊旅をしました。松本では旧開智学校、松本城、松本市立博物館にも行きましたが、松本市美術館では草間彌生さんの作品を堪能しました。



宿泊先は長野市でしたが、事前に調べているときに偶然シャトレーゼホテルを見つけてそちらに泊まりました。ウエルカムケーキや、フロントと大浴場にあるアイスクリーム食べ放題、朝食ビュッフェでもシャトレーゼ製品が食べ放題で、ついつい食べ過ぎました。

本命の美術館は長野県立美術館に付随する東山魁夷館です。ここは長野県が東山魁夷から寄贈された作品970余点が収蔵されており2か月で展示替えが行われています。期待通りでした！ 東山ブルーに感動し堪能してきました！

編集後記

今夏は記録的猛暑日が続きましたが秋は短く、冬が逆により寒くなるような気がします。こんな中で、令和7年度「西こじょう会だより」126号をお届けすることができました。原稿依頼に際し、担当ブロックで執筆された方、同好会、各委員会にご寄稿いただきました皆様、個人投稿されました方には、紙面を借りて御礼申し上げます。

西こじょう会だより／区会誌のホームページへアクセスの QR コード



発行日 2025年（令和7年）12月13日
発行者 西こじょう会（名古屋市高年大学鯉城会）
名古屋市鯉城学園
発行責任者 早川明良（西こじょう会会長）
編集責任者 犬飼孝二（kohji_inukai@yahoo.co.jp）
広報委員 石田廣次、早川よしえ



営業品目

- 企画デザイン
会社案内・パンフレット・チラシ・社史・記念誌
- データ処理
名簿・価格表・マニュアル
- 業務用印刷
名刺・封筒・はがき
- 自費出版
自分史・詩集・追悼集・旅行記

株式会社 **力ミヤマ**
総合印刷

■本社 <http://www.kamiyama.co.jp>

〒451-0042 名古屋市西区那古野一丁目21番14号
TEL (052) 565-1118
FAX (052) 565-1054

■上名古屋工場

〒451-0025 名古屋市西区上名古屋三丁目18番1号
TEL (052) 524-2711



愛知県 新美南吉の里 矢勝川 阿久比町堤防下